

題材

「未来に向けて」 ～卒業までになりたい自分を創る～

◇ 日 時 令和6年10月25日（金） 2校時

◇ 学年・組 第6学年2組 （36名）

- 1 題材 「未来に向けて～卒業までになりたい自分を創る～」
 学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現
 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる態度の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級では、高学年としての自覚を持ち、活動や取り組みに素直に取り組むこと、人に優しくすることができる児童が多い。特に行事や委員会での活動では、最高学年として、毎日の学校生活において、よりよい学校づくりをしたい、下級生に対して良い手本となりリーダーとして引っ張っていかうと意欲的に活動している。下級生に対しても優しい言葉をかけるだけでなく、自分でできるまで見守ったり、必要に応じて手助けしたりするなどの思いやりある姿が担任のいないときでも見られる。また、時間を意識して、学習開始のチャイムを座って聞いたり、移動教室では、廊下に素早く並んだりする姿が見られる。一方で、見通しを持って計画的に行動することが苦手で、委員会活動の学校全体の仕事や目の前の課題に取り組むことで手一杯になったり、自分のやりたいことを優先したりしてしまい学級の当番活動がおろそかになり人任せにしてしまう児童もいる。また、集団として指示通り動くことは得意だが、指示がないがやったほうが良いようなことに対しては、なかなか行動できないことが多く高学年として望ましい行動がとれるまでに至っていない児童も多い。

意識調査を行った結果、「5年生の時よりは成長した。」が88.8%とほとんどの児童が実感しているのに対し、理想としている6年生の姿には至っていないととらえている児童が50.0%と過半数を占めている。このことから、今はまだ目指す姿に向かっている途中だと考えていることがうかがえる。

最高学年としてふさわしい姿を目指して具体的に何をすればよいのかが分かっているか、日々の取り組み内容も充実していくと考えられる。そこで、運動会の行事を通してどのような姿が求められているかを提示し、自分がどのように達成していくかをめあてカードに書き、行事の後には振り返りを行うことで、自分がどのくらい目標に向けて自己実現できているか実感できるように指導した。

表1 自分を振り返る意識調査 1学期末実施

項目	肯定的評価
1 自分はすてきな6年生になれていると思いますか。	50.0%
2 あなたが思うすてきな6年生とは、どんな6年生ですか。 ・下級生が困っているときに、声をかけることができる。 ・楽しむときは楽しみ、やるときは、やるときはしっかりすることができる。 ・何事にも最後までやりきることができる。	
3 6年生になって5年生の時より成長したなど感じることはありますか。	88.8%
4 自分が成長したなど感じた時のことをくわしく書きましょう。 ・スマイルグループ活動でリーダーになり、下級生に優しく教えることができたとき。 ・自分で問題を解き、チャレンジしてクラス全員に発表をしたとき。 ・物事に取り組むスピードが上がったとき。	

本題材は、日々の生活づくりに主体的にかかわり自己を生かそうとするとともに、希望や目標を持ち、その実現に向けて日常をより良くしようとするキャリア形成との関連を図ったものである。これまでに、委員会活動を通して集団を高めるためには見通しをもって計画的に行うことや常時活動を責任をもって取り組むことが大切であることを指導してきた。また、社会見学や修学旅行を経験し、日頃の態度が行動に現れることから、公共の場にふさわしい行動や決まりを守るためには日々の積み重ねが大切だと気づいていると考える。

本題材について考えることで、小学校生活の仕上げの段階に入っていることを自覚し、よりよい自分を目指すために必要があると気づくことができる。また、慣れ親しんだ小学校を卒業し、中学校という新たな環境へ進学することへの期待や不安をもちながら、進学に向き合い、自分のよさや可能性を生かして今できることは何かと前向きに計画的に取り組むことができる題材であると考え。

(3) 指導上の留意点

- (事前) ○自分にとって理想の6年生になるために必要なことは何かを考えて2学期の目当てを立てる。偉人の伝記を読むなどして様々な生き方に触れておく。
- 修学旅行を通して、①公共の場では学校で求められている姿以上に他者を意識して自立してふるまうことが求められたこと。②事前学習をして見学するとより学びが深まったこと。③お互いを気遣ってコミュニケーションをとることで楽しく過ごせたことを思い出させ、よりよい自分を目指すことは人生を楽しく過ごせることにつながると気づけるようにする。
- (本時) ○2学期のめあてを立てるときに使ったワークシートを用意し、過去の自分と今の自分を比較したり、自分の課題や苦手を把握したりできるようにする。
- 自分たちがこれまでに6年生として頑張ってきた写真を提示し、望ましい具体的な姿を見せることで全員が本時の課題を捉えやすくする。
- ペアトークやグループトークの時間を設定することで、課題を解決する方法について具体的な目標を決められるようにする。
- (事後) ○実践カードを活用し、自己評価したり友だちと認め合ったりすることで、実践したことの成果を実感できるようにする。
- 事後アンケートを実施し、自分や友だちの変化、取組の成果と次への課題をつかめるようにする。

3 事前の指導

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
9/3	2学期のめあて決め	・1学期のめあてをどのくらい達成できたかを振り返り、6年生として必要なことは何かを考えてめあてを立てるようにする。	・卒業時にどんな6年生の姿になりたいか、自分なりのイメージをもつことができている。 (観察・学習カード) 【主体的に学習に取り組む態度】
9/3～	読書活動	・偉人の伝記を用意し、様々な生き方に触れさせる。	
9/6	オープンスクール	・中学校生活について知り、進学に向けて前向きな気持ちを持たせる。	
9/12 9/13	修学旅行	・公共の場ではマナーを守ることとお互いが気持ちよく過ごせることや事前学習しておくことより学びが深まること、お互いを気遣ってコミュニケーションをとることで楽しく過ごせることに気づかせる。 ・よりよい自分を目指すことは人生を楽しく過ごせることにつながると気づけるようにする。	

10/18	「自分ってこんな人」カード	・自分の長所を知り、短所も見方を変えれば長所になることに気づけるようにする。	・自分の気づいていなかった長所に気づくことができる。（学習カード） 【知識・技能】
-------	---------------	--	--

4 本時の展開（本時1／1）

（1）本時の目標

6年生になってからの自分の成長について振り返り、卒業・進学に向けて「なりたい自分」の姿に対して、具体的にどのように取り組むのがよいかを考え、実践できるようにする。

（2）学習の展開

学習活動 ○児童の思考や反応	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」と判断した児童への指導と手立て	評価規準 (評価方法)
つかむ（現状の把握） 1 下級生から見た6年生の姿をインタビューした動画を見て自分たちのアンケート結果と比較して課題に気づかせる。 ○5年生のときよりも成長をしているが、自分が思い描いている6年生になっている途中だ。	◇下級生が思う6年生の姿から自分たちの頑張りが伝わっていることを知り、さらによりよい自分を目指していることから自分にどのような課題があるのかをとらえ、学習の見通しをもてるようにする。	
S: なりたい自分の姿を目指して、卒業までに、自分がさらにレベルアップできることを具体的に決めよう。 A: なりたい自分の姿を目指して、卒業までに、自分ができることを具体的に決めよう。		
さぐる（理想の追求） 2 卒業までに、自分が理想とする6年生像に近づくために今の自分が頑張りたいことは何か。 ○算数の学習。 ○委員会活動。 ○クラブ活動。 ○1年生のお手伝い。 ○自分から挨拶をすること。 ○誰とでも仲良くすること。	◇縦割り班活動（スマイルグループ）、委員会活動での自分達の写真（学習場面、委員会活動、低学年の世話）を活用し、今頑張っていること、もう少し改善したいことを付け加えることで6年生として、 ・最後までやり遂げる責任感 ・見通しが持てる計画性 ・苦手の克服 ・自分の良さを伸ばす ・相手を思いやる行動 が必要であることに気付かせる。	
見つける（解決方法の話し合い） 3 理想の自分になるために、今からの自分には何が必要なのかについて話し合う。 ○学習と運動を両立させるためには、生活リズムを整えたり、日々の努力を積み重ねたりする必要があるのだな。【自己を高	◇今の自分をよりよくするために、できることは何か、どうやって実現していくのか具体的に考えさせる。	・なりたい自分の姿に対して、何が必要か考え、前向きに話し合っている。 (観察・学習カード) 【思考・判断・表現】

める】 ○協力して助け合えばよいと思っていたけれど、人任せにしていたかもしれない。自分で責任もって取り組みたいな。【規範意識】 ○誰に対しても言葉遣いに気をつけたら良い関係を築ける思いやりある人になれば友達がたくさん作れそうだな。【他者理解】		
決める（個人目標の意思決定） 4 なりたい自分になるまで自分が実践することを決め、伝え合う。 ○自主学習で苦手な算数の割合の問題が全問正解になるまで取り組んでみよう。 ○人任せにせず、自分から率先して声をかけて毎日委員会活動に取り組もう。 ○誰からも信頼される人になるために、言葉の重みを意識して話しかけるようにしよう。 5 自分で決めたことをもとに、学習を振り返る。	◇より良い人生を作ることにつながることに気付かせ、これまでに出た意見をもとにして自分の課題をふまえた目標を決められるようにする。 ◆書き出せない児童には、板書から自分ができる方法一つを目標として選ばせる。 ◇振り返りを共有し、これからの学校生活に生かす大切さを伝え、今後の活動へ意欲を高める。	・話し合ったことを生かして、自分が実践することを意思決定している。 （観察・学習カード） 【思考・判断・表現】

（本時のルーブリック）

	本時のルーブリック	
	関連付けて考える力	伝わるように表現する力
S	話し合った結果をもとに、今までの自分の課題と関連付け、卒業までに自分ができることが自分の将来にどのように役立つか考えている。	卒業までの自分の課題から自分を高めるために、自分に合った解決方法を考え、理由をつけて表現している。
A	話し合った結果をもとに、今までの自分の課題と関連付け、卒業までに自分にできることや自分の将来について考えている。	自分を高めるために、自分に合った解決方法を考え、理由をつけて表現している。
B	話し合った結果をもとに、自分にできそうなことを考えている。	自分に合った解決方法を考え、表現している。

(3) 板書計画

「未来に向けて ～卒業までになりたい自分を創る～」

めあて (88 日)

S: なりたい自分の姿を目指して、卒業までに、自分がさらにレベルアップできることを具体的に決めよう。

A: なりたい自分の姿を目指して、卒業までに、自分ができることを具体的に決めよう。

つかむ

アンケート

成長しているが
→自信がない

さぐる

【今頑張りたいこと】

- ・算数の学習
- ・委員会、クラブ活動
- ・1年生のお世話
- ・あいさつ
- ・友だち関係

6年生の姿の写真

- ①学習場面 ②委員会活動
- ③低学年の世話

見つける

【何が必要だろうか】

- ・自己を高める
- ・努力を積み重ねる
- ・責任について
- ・協力して自分で責任をもつ
- ・他者について
- ・言葉遣いに気をつける

振り返り

- ・自分で決めたことを意識して、活動をしていきたいと思った。

決める

- ・全問正解まで取り組む。

- ・毎日取り組む。

- ・日頃から言葉の重みを考える。

5 事後の指導

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月22日(金) (70日前)	・意思決定したことについて、自分の実践を振り返り、実践カードに記録する。	・帰りの会で振り返る場、家庭で振り返る場を設定し、継続的に努力できるようにする。	・友だちの意見を参考しながら立てた具体的なめあてや実践方法に、進んで取り組んでいる。 (カード・観察) 【主体的に学習に取り組む態度】
12月20日(金) (50日前)			
2月3日(月) (30日前)			
2月25日(火) (15日前)			